

# 東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1194号  
2011年2月6日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

◇2月の代祷・布施奉献先  
▽「信教の自由」を抑圧されて  
いる人々のため(2月11日に近い  
主日)▽ハンセン病問題啓発の  
日(顕現後第6主日2・13)▽聖  
公会生野センターのため(2・  
27)(3月1日に近い主日)▽  
深川・キッドスクール(幼稚園)  
のため▽ぶどうのいえのため▽  
中部教区可児ミツシヨンの働き  
のため

◇教区教役者会11年度幹事(50  
音順) 大森明彦司祭・倉澤一  
太郎聖職候補生・下条知加子聖  
職候補生・卓志雄司祭(長)・  
中川英樹司祭。  
▽2月ランチタイム・オルガ  
ンコンサート\*聖パウロ11日  
(金)・佐藤礼子・阿部玲奈(ヲ

## 今週・来週の予定 2月6日~19日

- 6(日) 顕現後第5主日
- 7(月) 分担金…特別委員会
- 8(火) 銀座朝教会
- 11(金・休) 主教按手式  
(香蘭女学校)
- 13(日) 顕現後第6主日
- 15(火) 貧困問題P  
常置委員会
- 16(水) 教役者レクイエム  
(主教座)  
聖職養成委員会  
人権委員会(管区)
- 17(木) 信仰と生活委員会  
財政委員会  
城南G牧師協議会  
外濠G牧師協議会
- 18(金) 広報委員会  
山手G牧師協議会

ルート) \*聖テモテ15日  
(火)、河野和雄 \*神田キリス  
ト16日(水)、栗形亜樹子 各  
々12時20分から30分程度、入場  
無料。  
▽2月銀座朝教会(第2・4  
火曜) 7時半、8日・22日。喫  
茶室ルノアール・ニュー銀座。  
照会皿042(796) 149  
8・同世話人。  
▽2月西新の会 8日(火)  
19時半||聖餐式・聖書の学び  
(高橋司祭)。井草地域民セ  
ンター。照会皿03(3338)  
4145・阿佐谷聖ヘテロ教会。  
◆としえの平安  
12月22日 山田 二郎(69)  
1月26日 金子 京(100)  
1月27日 山本 邦夫(77)  
聖ヨハネ  
聖ヨハネ

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

私は「正しい祈り方」というものを長い  
間模索していました。主の祈りもお題目を  
唱えている感じ、祈り書の祈りもただ文字  
を追うだけで気持ちを込めら  
れなかつたからです。  
祈りを恐らく義務、宿題の  
ように捉えていたからだと思います。  
ここ数年の間に母、続いて  
父が天国に召され、娘が病を  
発症するなど辛い出来事が続  
きました。心身ともに疲れ果  
てた時、私の祈りは言葉にな  
らず、ただただ涙が流れまし  
た。何も語れず、それは呻き  
にも似たものでした。  
「すべての心は主に現れ、すべての望み  
は主に知られ、どのような秘密もみ前に隠  
れることはありません」。聖餐式の参入時  
に捧げる祈りです。

《み手のなかで》

## 心のつばき

原 秋子

私の心の内は神様にすべてお見通し、自分  
の不安や恐れをすべて主に打ち明け、御心の  
ままにすべてを主に委ねてみよう。苦しみと  
は突き詰めればその出来事が自分の思  
い通りにならないことが苦しい。  
心を空っぽにして神のみ旨をうけ  
いれてみよう。心が発信するメッセ  
ージは、たとえそれが言葉にならな  
くとも、神様にはちゃんと伝わる。  
祈りとは心で唱えるもの。と思うよ  
うになりました。  
私の心のつばきを神様はちゃんと  
キャッチしている。祈りをこのように  
捉えるようになってからは神様がいつ  
も一緒に居てくださると感じるようにな  
りました。祈りの中で主と共に、自  
分自身に立ち戻り自分と共に、そして家族や  
隣人と共に。こうして得られる安らぎの内に  
もっとも大切な祈りが感謝であることも知り  
ました。  
(練馬聖ガブリエル教会信徒)

## ◇主教按手式・第9代教区主教就任式のご案内◇

## 新しい旅のはじまり

いよいよ今週11日(金) 13時より、主教被選者アンデレ大畑喜道司祭の主教按手式・教区主教就任式が香蘭女学校で行われます。国内外から多くのゲストをお迎えし、一緒にこの祝いの時を持つことができますことを大変嬉しく存じます。東京教区に連なる皆様のご参列とご加禱を心よりお願い申し上げます。

按手式ご参列にあたり、実行委員会よりご案内申し上げます。

準備の都合上、当日は公共交通機関(最寄駅⇨東急池上線・大井町線「旗の台」駅より徒歩8分)でのご来場をお願いいたします。駅から按手式会場までは数カ所に案内が立ちます。

当日の受付は正午より開始されます。ご参列の方は受付で式文(日本語、韓国語、英語、点字を用意)を受け取り、礼拝堂へお進みください。要約筆記補助がお入り用の方は、受付でお申し出ください。礼拝中の信施(奉献先⇨管区主教会資金)

は、受付設置の献金箱にお入れください。主教按手のお祝い金は受付でお受けいたします。礼拝式場では1階席前方に来賓席が用意されますので、その後順次前方の席よりつめてお座りください。陪餐は式場内数カ所に分餐者が立つて行います。案内の指示に従ってお進みください。礼拝終盤の来賓紹介、派遣の言葉に続いて聖職団

は退堂します。その後皆様方へのアナウンスがございますので、順次茶話会会場へお移りください。茶話会では、新主教のお披露目紹介、来賓からのご挨拶などを行う予定です。

茶話会終了後は会場後片付けを行います。テーブルを運ぶなどの力仕事となりますが、皆様のご協力をお願いいたします。

尚、敷地保護のためにピンヒールでのご来場は避けください。また、すようお願いいたします。

一人でも多くの方々と喜びと希望を分かち合いたいと願い、実行委員会では準備を進めております。皆様のご参列をお待ち申し上げます。

按手式・就任式実行委員長

司祭 笹森田鶴

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

## 【クローズアップ】75

## 正義と平和協議会開催報告

1月22日、2011年度初の正義と平和協議会が開催された。

毎回、協議会時には講演会を行い、学びの時を持っている。

今回は沖縄教区主教谷昌二師父を講師にお招きして「裏切られ続けている沖縄」という題でお話を頂いた。とかく正義と平和という自分達の信仰とは遠くかけ離れた問題とされ敬遠される傾向がある。人数が集まるのかと主催者としては危惧していたが、加盟団体の代表や個人会員のみならず約40名の参加者を得た。紙面の都合で全てをお伝えできないが、最初に谷主教は「神によって与えられた復活の希望のいのちの喜びを分かち

合うために平和と正義を考えることは、信仰の課題であること」を強調された。「生かされていることの喜びを徹底するのは難しい課題だけれども愛の実現のために向き合い続けて欲しい」と励まされた。そして沖縄で起きている出来事に触れながら、基地問題で見えてきたことを語られた。私たちは巧妙に不安を煽られ、沖縄がいつも貢物とされ、犠牲とされていく構造的な事柄をしっかりと見つめると、本当のことは何なのかを見ているようで分かっていないことが良く分かってくる。沖縄を犠牲にして問題を看過せず、信仰者として何が大切で、どのように生きるかが求められているかをしっかりと掴んで欲しいと

話された。とても大切なことなので、できる限り多くの方々と講演内容を分かち合うため、運営委員会では何らかの形で発信したいと考えている。協力者を募集中。

講演後は協議会に移り、今年度活動計画の報告と説明がされ、新しく立ち上げられた貧困問題を考えるプロジェクトが目指している事を分かち合った。また新たにメンバーに加わったバンサイターン共の会、一羊会の歓迎と活動の説明が行われた。このあと運営委員の選挙を行い4名の委員を選出。常置委員会の推薦委員、信仰と生活委員会よりの推薦委員が決まり次第、互選で協議会議長が決定される。

教区正義と平和協議会議長

司祭 大畑喜道